

館報 いしわた

第175号

発行所 石渡公民館
発行人 田中久夫
編集人 吉田幹男
印刷所 (株) 双真

区長退任あいさつ

石渡区長 横田 一雄



令和二年度の区長退任に当たり、区役員、常会長、隣組長をはじめ区民の皆様には、事業・運営等にご理解、ご協力をいただきました事に心より感謝申し上げます。

さて、この一年を顧みますと、「コロナに始まり、コロナ禍で喘ぎ、平常通りに事業ができないもどかしさ！中止せざるを得ない無念さを、穏やかに受け入れる心にはなれない一年でした。公民館事業、福祉・健康推進事業を通じ（人の心のつながりや協力し合う共助の心）が構築できる環境づくりや関係づくりを目指しましたが、人との親交の場を遠ざける策となる生活様式・環境という逆行の体制を取らざるを得ない残念な状況になってしまいました。

事業としては、昨年に引き続き『災害時避難行動要支援者名簿』の更新を実施し、災害弱者の身の安全を守る施策等を検討。また、災害時における一時避難場所として、ホクト(株)所有地（運動公園東地域）のご提供に関する申し入れを行い現在検討中です。

また、公民館東側に二棟目の【防災倉庫】を設置し、災害時の救助活動に必要な備品を常備しました。まだまだ万全とは言えませんが順次に整え、地域で支え合い、助け合いができる姿が実現できるよう更なる準備が必要かと思えます。

最後に、新年度も更なるコロナ禍との戦いになると思われませんが、区民の皆様方のご健康とご多幸を祈念するとともに、石渡区が安全で、安心して暮らせる地域になることを願い、退任のあいさつと致します。

公民館長退任あいさつ

石渡公民館長 田中久夫



令和二年度石渡公民館長を務めさせていただきました田中です。区役員の皆様、区民の皆様には、各種の公民館事業推進につきまして、格別なご理解とご協力を賜り、ありがとうございました。

令和二年度は、四月早々から新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、国による「緊急事態宣言」が発出されたことにより、感染拡大防止の観点から、区民皆様への最初におけるメッセージが「春季レクリエーション中止のお知らせ」でした。

新型コロナ禍の中でも、何とか公民館事業ができないかと苦慮しましたが、石渡地区からコロナ感染者を出さないとの考えから、密閉空間・密集場所・密接場面の三密が予測される親善球技大会、区民運動会、餅つき体験、新春レク等の事業は中止せざるを得ないことになり、公民館事業を通じて区民相互の「絆」を深めることができませんでした。

一方、文化祭（作品展示のみ）、人権擁護講座、文化教養講座については、ソーシャルディスタンスの確保を図りながら実施できましたことが唯一の救いでした。

新型コロナウイルス感染症は、全世界へと感染拡大が続いており、国内においても第三次の感染拡大により、大都市圏はもとより地方都市においても医療崩壊を生じさせております。

一刻も早くこうした事態が収束し、安心・安全な「いつもの生活」ができることを願いつつ、退任のあいさつと致します。

令和2年度 常会長退任あいさつ【一年を振り返って】

第一常会長 藤戸 昌浩

今年度の常会長の業務は、コロナ禍のため市報等の配布や区費等の集金、安全パトなど基幹的な業務に限られていました。とは言え、一常会の戸数が子供の頃に比べれば格段に多くなっていることを実感しました。一常会の戸数は現在もなお増加中です！

あと今年度は国勢調査の当たり年で、常会長ということもあって調査員を務めたこともいい経験をさせていただいたと感じております。

石渡の諸先輩方からご指導を仰ぎつつ、ご迷惑をお掛けしつつも、一年役を全うする事ができました。ありがとうございます。コロナ禍の一日も早い収束と、石渡区のさらなる発展を祈念します。

（追記）

この文章を準備していたら、みかさ幼稚園の岩田理事長先生（私にとって園長先生）の訃報が飛び込んできました。心からご冥福をお祈りいたします。

第二常会長 倉澤 良貞

新型コロナ禍の一年でしたが、毎年実施の事業

等がほとんど行われずに過ぎてきました。そのなかで、隣組長さんには区費等の徴収、募金集め、お神札注文・代金徴収や土木事業等要望調査、緊急時の隣組連絡網、防災マップ作成、災害時避難行動要支援者登録調査に協力していただく他、今年には特に福祉台帳調査が追加であり大変ご苦勞様

でもあわせてご協力の皆様にも申し上げます。また、国勢調査では高山健治様に担当していただき、誠にありがとうございました。

ただ一つ残念なことがありました。それは、今年初めて区で計画していた「常会内交流助成金支給の試行実施」事業において、常会内での区民の交流を図ることが出来なかつたことです。

来年は隣組長となるので、新常会長に協力し、隣近所の活発な交流を目指していききたいと思っております。

第三常会長 安藤 直文

あつという間に一年が過ぎてしまいました。この間、隣組長様、常会の皆様、また区役の皆様には大変お世話になり、時にはご迷惑をおかけして

しまったことと思いが、ご理解とご協力をいただいたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

今年には球技大会・運動会などごとく中止となり、毎年三度行われた常会会議も年末のたつた一回という異例の年となり、何かさみしい思いも残ります。

常会長としてお役に立てたか。振り返ってみると、こうすれば良かったと反省もしきりですが、来年度からは一区民として少しでも区に協力できればと思えます。ありがとうございました。

第四常会長 松永 守

常会長という大役に対する不安と、新型コロナウイルスへの不安を抱え、慌ただしくスタートした一年前を、思い返しました。

新型コロナ感染拡大により、地区行事は大きく振り回され、中止・縮小・延期となりました。

コロナ禍は、人が集まる機会を奪い、つながりを遮断しかねないと強く感じました。その中で四常会の皆様、隣組長の皆様には、活躍が制限される中、大変ご協力いただき、感謝の気持ちでいっ

ばいです。三月で常会長としての役は終える事になりますが、区民として生活しやすい石渡区であり続けられる様、協力していきたいと思えます。これから、よろしくお願いいたします。

新年度役員の皆様の活躍をお祈りし退任のあいさつとさせていただきます。

この「館報いしわた」が、発行される春には、新型コロナが収束していることを、願っております。一年間、ありがとうございました。

第五常会長 大塚 弘

今年度常会長を務めさせていただきました。引き続き三ヶ月にはコロナウイルスがまん延し始めた常会長のスタートとなつてしまいました。国の初期対応の遅れから県の判断も遅れ、区では判断もし難い状況で、関係者も対応に苦慮なされた一年になつたと思えます。

各行事は中止が多くなりましたが、新しく防災マップ、連絡網の作成や三年や五年に一度、その他の調査ごとなど数多くあり、例年より活動は少ないとは思いますがやっ

てみると大変さがわかりました。常会長を務めさせていただいてこれから先を考えたければいけないのは、働き盛り・子育て・親の介護など負担が多い若い世代に石渡区の役員関係を引き継いでいくには何か必要かということ

です。コロナ禍の新しい生活様式、時代に沿った考え方の下、石渡の歴史を守る祭事や、区民を守る防災関係などは大切に踏襲しつつその他の行事（球技大会、運動会、その他）はコロナと共存となったこの機に見直してもよいのではないでしようか。

最後になりましたが、区長はじめ区役員関係の皆様には例年ないコロナウイルスの対応で苦慮される中、意見もさせていただきます。親身になって色々ご配慮して下さいますと本当にお世話になりました。隣組長の皆様におかれましては、多くの調査関係の取りまとめなど、お忙しい中ご協力いただきまして感謝いたします。また五

常会の皆様におかれましては、各行事が中止になり水面下の活動になつてしまい、正式なごあいさつもできず至らない点

が多々ありましたことをこの場をお借りしておおび申し上げます。引き続き公民館役員、協議委員を来年度も務めさせていただきますので、よろしく願います。

第六常会長 水内 通晴

「もうひとつの2020年度」

一昨年末、寝耳に水で次期常会長を仰せつかつて早一年余。誰がこの状況を予測できただろうか。ここからは私の妄想である。

春は公民館での各種会議、懇親会を経て常会長としての任務を熟知。六月の球技大会では練習の成果を発揮し見事優勝。お宮で宴会、他常会の皆様とも親睦を深める。更に夕方六常会の恒例行事である公園での祝勝会である。夏も子供も大盛り上がり。夏の五輪で日本選手への活躍に刺激を受けたか、九月の運動会は六常会の精鋭達が多数参加しこれまた優勝、そして美酒。

秋の協議会後の懇親会。正月役定めで新年会。年度末組長さん達と慰労会。etc. おっとここで字数が尽きた。酒席の妄想ばかりで恐縮しかり。恨むのは

コロナである。

第七常会長 松本 誠二

今年度第七常会長として一年間振り返ってみて感じたことを述べさせていただきます。この一年を通じて感じたことはやはり各組長さん、協議委員さんをはじめ常会区民の皆さんの協力なくしてこの活動はできなかつた。

特に新型コロナウイルスの影響で四月のお宮清掃から始まり六月の球技大会、八月の防災訓練、九月の区民運動会等様々な行事が中止や縮小になつてしまい、常会内ならびに他の常会の方とも接する機会がほぼなくなつた。前年度組長をやつていた際に今回常会長を引き受けてほしいと話を頂いた時は内心、不安と心配でいっぱいだった。

石渡に越して十年余りになるが、自宅の周りすらあまり分かつていない中で果たして常会長が務まるのかということしか考えられなかった。今まで常会の活動をあまり把握しておらず、一年を通してこんなたくさんさんの行事があるんだというのと、今までの常会長さんや各役員の方々が

が苦勞なさっているのだということをお自分が活動していく中で感じた。新しい生活様式という活動内容も変わってくると思うが、今回の経験を生かし、今後の常会の活動に貢献できるように来年度の各役員さんに協力できたら良いと思つた。

第八常会長 須田 正志

「コロナ禍と、年齢でとても早く過ぎ去つた一年。行事も会議も中止が多く、あまり役だてず常会の皆様には大変申し訳なく思つており御許し下さいます。

公民館の扁額の「和氣藹々」と和やかに、組長の方々と親しくさせていただきまして至福の時間を持つことができ、感謝致しております。石渡が、私の「終の住処」になります。これからは若い世代の方々と、その子供さん達が主流になつていただき、意見交換し合いこの地で暮らし本当に良かったと思える様に、良い習慣は踏襲し簡略すべき事はその様にしたいだけだと思います。今年今日この頃です。

が苦勞なさっているのだということをお自分が活動していく中で感じた。新しい生活様式という活動内容も変わってくると思うが、今回の経験を生かし、今後の常会の活動に貢献できるように来年度の各役員さんに協力できたら良いと思つた。

第九常会長 山本 治重

常会長を引き受け早くも一年が過ぎようとし、振り返れば、コロナ・コロナの情報が絶えることなく、区の活動も新型コロナウイルスに翻弄され、感染予防の観点から多くの行事が中止となりました。三蜜を避けての任務、人と人との交流も少なくなり、いまだ終息の先さえ見えない状況下で役割を終えることになりました。

これまで行政や区からの依頼の遂行に又祭事に当り準備・清掃等にご協力をいただきました常会の皆様、そして住民の皆さんと橋渡しを担っていただきました隣組長さんに感謝申し上げます。

次年度も引き続き協議委員と隣組長を担当させていただきます。よろしくお願い致します。

一年間お疲れ
さまでした

新旧役員引継会 2月21日 18:30～ 令和3年度新役員11名と実施





コロナ終息願い込め 石渡区どんど焼き

冬晴れとなった一月十一日(成人の日)、石渡区のどんど焼きが行われました。コロナ禍で恒例の「餅つき体験」や「新春レク」などの正月行事が中止となっただけに、200人を超す区民が集まり今年の無病息災、安全を祈願しました。

「会場が屋外で三密は回避できる」と実施理由を話す藤巻弘幸氏子総代。子どもたちによる各戸からの正月飾りなどの回収は育成会役員らが代行、会場でのマスク着用、三密回避、前後の手洗いなどの励行、お神酒の振る舞いはなしなどの配慮をしての開催となりました。

会場は運動公園東のホクト(株)の所有地。午前中には、氏子、公民館、育成会の役員らが回収した正月飾りやだるまなどを一つ一つ丁寧に点検、ビニールや金具などを取り除き二基のやぐらが完成しました。

点火に先立ち、コロナ対策の諸注意を藤巻総代がアナウンス、参加者全員で神社に向かい柏手を打ち、やぐらにお神酒を献上。横田一雄区長らが点火すると、コロナで翻弄された昨年の厄払いと今年の区民の健康と安全の願いを込めたやぐらは天高く燃え上がりました。

二十分ほどで火勢が下火になると、遠巻きにしていた区民らが一斉にやぐらの周りに。アルミホイルで包んだもちや柳の木の枝に差した繭玉、スルメなどの焼き物を火の中に入れていました。

人垣の周りでは、早速焼きあがったおもちを口にする家族連れやお年寄りの姿も。一日も早いコロナの終息を一心に込めたどんど焼きでした。

退任される令和元年、2年度 公民館役員



編集室より

令和二年度最後の館報になりました。コロナ禍により行事が中止となるなか、皆様の温かいご理解とご協力により、文化祭、人権擁護講座、文化教養講座を無事開催して記事を掲載することができました。心より御礼申し上げます。

一日も早いワクチン接種で東京二〇二〇オリンピック・パラリンピックが、秋には石渡神社のお祭りが、開催されることを願っています。

安心して公民館活動ができる日まで、皆様もう少し辛抱が必要ですね。